



Journal of Nara Medical Association

Vol.49
No.4
August
1998

Executive Editor:

Yoichi KONISHI

Editorial Board:

Shigeaki ISHIZAKA

Eiji KITA

Hiroshi NAKANO

Toshihiko SHIRAI

Kunio YONEMASU

Koichiro YOSHIHARA

Managing Editor:

Hiroko MEGUMI

Published by

Nara Medical Association
and University

Kashihara, Nara 634-8521, Japan

目 次

「原著」

- 1997年の奈良県における小児急性神経疾患の発生状況 西野正人... (229)
他 4 名
- 石綿曝露者における気道過敏性に関する研究
第一報 自覚症状の検討 森川 暁... (235)
- 石綿曝露者における気道過敏性に関する研究
第二報 他覚症状の検討 森川 暁... (240)
- 顎関節X線規格写真を用いた顎関節の形態と下顎頭運動経路の分析
——健常者と顎関節症患者の比較—— 都築正史... (246)
- 「症例報告」
- An infant with heart failure and respiratory distress syndrome delivered by emergent cesarean section with placenta previa totalis Toshiya NISHIKUBO *et al.*... (261)
- 腎血管性高血圧にネフローゼ症候群を合併した高齢者のインスリン非依存型糖尿病の1例 原田幸児... (266)
他 3 名
- 高度の間質病変を示した糖尿病性腎症の4例 金内雅夫... (271)
他 8 名
- 大量の造影剤 (Iomeprol) 使用後に成人呼吸促進症候群を発症した急性冠閉塞の1例 長崎宗嗣... (278)
他 6 名
- 誘因なく発症した上腸間膜動脈症候群の1例 池中康英... (283)
他 12 名
- Sigmoid septum causing aortic regurgitation: a case report Reiko MIZUNO *et al.*... (288)

CONTENTS

[Original Articles]

- A regional survey in nara on incidence of acute infantile neurological disorders in 1997
.....Masao NISHINO *et al.*... (229)
- Studies on airway hyper-responsiveness in asbestos workers
1. Respiratory symptomsSatoru MORIKAWA... (235)
- Studies on airway hyper-responsiveness in asbestos workers
2. Lung function testsSatoru MORIKAWA... (240)
- Morphometric analysis of the temporomandibular joint and the condylar path in standardized arthroradiogram ; comparison between healthy and affected subjectsMasashi TSUZUKI... (246)

[Case Reports]

- An infant with heart failure and respiratory distress syndrome delivered by emergent cesarean section with placenta previa totalisToshiya NISHIKUBO *et al.*... (261)
- A case of renovascular hypertension with nephrotic syndrome in non-insulin-dependent diabetes mellitusKoji HARADA *et al.*... (266)
- Four cases of diabetic nephropathy with severe interstitial lesions.....Masao KANAUCHI *et al.*... (271)
- Acute coronary occlusion presenting as adult respiratory distress syndrome (ARDS) due to a large amount of iomeprolMunetsugu NAGASAKI *et al.*... (278)
- A case of superior mesenteric artery syndrome caused without predisposing factors
.....Yasuhide IKENAKA *et al.*... (283)
- Sigmoid septum causing aortic regurgitation : a case reportReiko MIZUNO *et al.*... (288)

奈良医学雑誌投稿規定

奈良医学雑誌は総説・原著・症例報告・見聞記などを掲載するものであり、各論文の構成内容は下記のとおりとする。また投稿に際しては、各論文表紙に総説・原著・症例報告・その他の別を明記すること。

1. 総説の構成は以下のとおりとする。

- 1) 表紙：論文タイトル，所属，著者名，ランニングタイトル(英文，スペースを含40字以内：和文，40字以内)
- 2) 抄録：和文400字以内とする。Key word(5語以内)
- 3) 本文・図表：構成は著者に一任する。

2. 原著・症例報告の構成は以下のとおりとする。

- 1) 表紙：和文と英文の論文タイトル，所属，著者名，ランニングタイトル(英文，スペースを含40字以内：和文：40字以内)
- 2) 抄録：英文300語以内とする。Key word(5語以内)

3) 本文：和文あるいは英文で緒言・材料と方法・結果・考察・結論・謝辞など・文献の構成とする。

4) 図表：英文で説明文をつける。

3. 見聞記・その他の構成は以下のとおりとする。

- 1) 表紙：タイトル，所属，著者名
- 2) 本文：構成は著者に一任する。400字詰め原稿用紙数枚とし，図表は5点以内が望ましい。

各項目の記載事項の詳細については以下のとおりとする。

I. 表 紙

1. 和文では表題，所属，著者名の順に記す。
2. 英文の表題，著者名(名を前に姓を後に)，所属は原著と症例報告のみとし，表題と著者名はすべて大文字とし，省略しない。2名以上連記の際は最後の著者名の前に，and をつける。
3. 英文・和文ともに表題と短縮したランニング・タイトルをつける。

(例) 治療的エキシマレーザー角膜表層切除術後の遠視化の原因について

奈良県立医科大学眼科学教室

桜井一郎, 竹谷 太, 魚里 博, 原 嘉昭, 西信元嗣

大淀町立大淀病院眼科

名和良晃

THE CAUSES OF THE HYPEROPIC SHIFT AFTER EXCIMER LASER PHOTOTHERAPEUTIC KERATECTOMY

ICHIRO SAKURAI, FUTOSHI TAKETANI, HIROSHI UOZATO,

YOSHIKI HARA and MOTOTSUGU SAISHIN

Department of Ophthalmology, Nara Medical University

YOSHIKI NAWA

Department of Ophthalmology, Oyodo Municipal Hospital

う説明⁷⁾は

2. 文献は別紙に一括し、欧文はダブル・スペースでタイプすること。

3. 雑誌からの論文引用はつぎの記載法に従う。

(1) 文献の記載順序

引用番号) 著者名: 題名. 誌名巻: 頁(開始-終り), 年号.

(2) 著者名: 日本人名は姓・名ともに記し, 省略しない. 外人名は姓のあとに名の頭文字のみを略記する.

(例) 岡田以蔵:

Roughton, F. J. W.:

連名の文献は下記の例に従い, 全著者名を列記する.

(例) 井口 潔・尾前照雄:

Guyton, A. C., Granger, H. J. and Coleman, T. C.:

(3) 雑誌名は慣用の省略法に従い, 外国文献は Index Medicus 所載のものに準ずる. 省略法の不明なものは図書館司書に一度相談されるのがよい.

同一の文献を引き続いて引用する場合も, “同”, “ibid.” は用いない.

(4) 雑誌の巻は太字(ゴシック)で印刷するが, 原稿にはアンダーラインをつける.

(5) 和文文献の年号は西暦に統一する.

(例) 3) 望月光治: 歯原性角化嚢胞の研究—主にその増殖能に関して. 奈医誌. 39: 134-154, 1988.

4) Knight, J. S. and North, J. F.: The classification of malar fractures an analysis of displacement as a guide to treatment. Brit. J. Plast Surg. 13: 325-339, 1960.

4. 引用単行本の記載は次のように統一する.

引用番号) 著者名又は編者名: 書名. 版, 発行所, 発行地, 引用頁, 年号.

(例) 16) 小松勇作: 数理生物学概論. 中山書店, 東京, p 31, 1950.

17) Weiss, P.: Genetic neurology. 1st ed., Chicago Univ. Press, Chicago, p 53, 1950.

18) Gottschalk, A.: Current Status of chemotherapy in metastatic renal carcinoma in The Enzymes (Boyer, P. D.,

Lardy, H. A. and Myrback, K., eds.), 2nd ed., Vol. 2, Academic Press, New York, pp.67-72, 1960.

Ⅶ. 投 稿

1. 投稿は奈良医学会会員に限る(会員は会費年額 4,000 円を編集部へ納入する).
2. 投稿には 400 字詰 (20×20) 原稿用紙 (A 4 判または B 5 判) を用いること. ワープロ使用の場合は, 原稿用紙書式 20×20 字で作成すること.
3. 投稿に際しては, 投稿著者 (論文に対する責任著者, 英文投稿では corresponding to) を明確にし, 著者全員の投稿同意署名を指定用紙に署名する. 著者の合意の得られていない論文は受理しない.

Ⅷ. 校正・その他

1. 校正は原則として初校, 再校を著者において行う. 初校後原文はそのまま返却するが, 写真版は印刷完了まで預る.
2. 校正の段階で大幅な内容の変更を行ってはならない. そのような場合には, 印刷を次号まわしとする.
3. 校正には赤字を用い, 校正の記号は慣例に従うこと.
4. 校正は 48 時間以内に編集部に戻すこと.
5. 初校時に別冊の希望数を表紙に明記する. 別冊は 30 部までは贈呈し, それ以上は著者負担とする.
6. 掲載の順序は原稿の到着順とするが, 編集の都合上同一号における順序を変更することがある.
7. 会員は本文 (印刷頁) 3 頁まで無料とする.
8. 発行は年次 1 巻 6 号とする.
9. 投稿は編集主幹または直接下記へ送付されたい.
〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840 奈良県立医科大学腫瘍病理学教室内
奈良医学雑誌編集部 (Tel.0744-22-3051 内線 2253)

補足 I. 適切な Key word の選び方

文献を網羅的に探したり, 特定の情報, データを検索するには, まず何らかの手掛かりとなるものが必要である.

主題を手掛かりとする場合, 奈良医学雑誌では SUBJECTS INDEX が利用される. しかも, この索引は研究の内容を最もよく知っている著者自身が Key words として指示した用語をもとに作成される仕組みになっている. すなわち, 著者の採用した用語は, それを利用する人が必要な文献を能率的に検索する手引となる. したが

って、どのような用語を採録するかは重要なことであり、著者は充分考慮しなければならない。基本的には、ある主題・概念をできる限り明確に表す最も適切な用語を使用することであるが、次にいくつかの指針となるものをあげる。

(1) 文献の論題(論文の内容に正確にマッチした)に出ている用語の中から、重要な語あるいは語句を選ぶ(4~5程度)。さらに、抄録、論文本文中からも探索の手掛りとなる適切な用語を追加する。

(2) 用語は標準化されている医学用語を採用し、原則として英語の慣用語を使い(ない場合はラテン語形)、アメリカ式綴り方を採る。

(例) ANAESTHESIA → ANESTHESIA

(3) 同義語、関連語は()に示す。

(例) NEOPLASM (CANCER, TUMOR)
HORMONES (ENDOCRINE GLANDS)

(4) 特殊な用語から、より一般的用語、或は一般的用語から、特殊な用語への指示が考えられるものは()に入れる。

(例) BRAIN (CEREBRUM)
PAPAVER (OPIUM)

(5) 器官名や単一の疾患名は原則として単数形をとり、総括的なものは複数形とする。

(例) ARM HEART DISEASES

(6) 複合語は、判断により転置形にする。

(例) GASTROINTESTINAL HEMORRHAGE →
HEMORRHAGE, GASTROINTESTINAL

(7) 動物実験の場合は実験動物名(小文字)を追加する。

(例) ARTERIOSCLEROSIS, rabbits

(8) 年齢別による器官、疾患或は生理的機序に関するものは: ASTHMA, child

(9) 薬物の投与の形式、診断や治療の目的で使われるもの、副作用を生じたものなど次のように副標題を補足する。

(例) PENICILLIN, administration & dosage;
ASPIRIN, adverse effects; STOMACH

ULCER, chemically induced; LIVER, anatomy; AMINO ACIDS, biosynthesis; KIDNEY, pathology; PANCREAS, radiation effects

補足 II. かなづかいの例

次のカッコ内は用いない。

あらゆる	(凡ゆる)	あるいは	(或は)
いう	(云う, 言う)	いずれ	(何れ)
いたずらに	(徒に)	いる	(居る)
いわゆる	(所謂)	おいて	(於て)
おこす	(起こす)	おこなう	(行う)
おそらく	(恐らく)	および	(及び)
かかわらず	(拘, 関, 係らず)	かつ	(且つ)
かなり	(可成り)	かねて	(予て)
ここ	(此処, 茲)	この	(此の)
これ	(之, 是)	ことに	(殊に)
さらに	(更に)	しかし	(併し, 然し)
したがって	(従って)	しばしば	(屢々)
すくない	(少ない)	すなわち	(即ち)
すべて	(総て, 全て)	その, それ	(其の, 夫れ)
ただ	(只, 唯)	ただし	(但し)
たとえば	(例えば)	ため	(為)
ついて	(就いて)	とおり	(通り)
ともなう	(伴う)	ともに	(共に)
ないし	(乃至)	なお	(尚, 猶)
など	(等)	ながら	(乍ら)
なぜ	(何故)	ならびに	(並びに)
ほぼ	(略々)	ほとんど	(殆ど)
また	(又)	まで	(迄)
ますます	(益々)	むしろ	(寧ろ)
もし	(若し)	もって	(以て)
やや	(稍々)	ゆえに	(故に)
ように	(様に)	よる	(因る, 依る)
わかる	(判る, 分かる)	わたって	(亘って)

投稿規定概略

1. 奈良医学雑誌は、奈良医学会の公的雑誌として奈良医学会員による総説・原著・症例報告及び見聞記などを掲載する。
投稿は、奈良医学会員（年会費4,000円）に限るものとし、投稿著者（論文に対する責任著者）を明確にし、著者全員の投稿同意署名を指定の用紙に記入して奈良医学雑誌編集部（本館1階、Tel. 0744-22-3051 ext. 2253, Fax. 0744-23-7508 係：恵 ひろ子）へ原本1部を持参又は郵送する。
2. 論文の採否は、編集委員又は査読者の結果をもとに編集主幹が決定する。
3. 原著と症例報告は英文300語以内の抄録をつけ、図および表の説明は英文とする。
4. 原著・症例報告・謝辞・文献・その他は投稿規定の細目に従う。
5. 編集主幹は、編集委員会の同意のもとに投稿を依頼することができる。
6. 投稿論文作成の詳細は、奈良医学雑誌投稿規定に従う（各年の最終号に掲載する）。
7. 査読期間は論文受領後、2週間とする。
8. 原著・症例報告の掲載は、印刷頁3頁まで無料とし、超過分は著者負担とする。別刷は30部まで無料とする。
9. 依頼原稿については、8.の規定を除外する。

編集主幹：小 西 陽 一（腫瘍病理学）

編集委員：白 井 利 彦（皮膚科）、喜 多 英 二（細菌学）、
中 野 博（病態検査学）、吉 原 紘 一 朗（生化学）、
米 増 國 雄（図書館長）、石 坂 重 昭（寄生虫学）

連絡先：〒634-8521 奈良県橿原市四条町840〔TEL 0744-22-3051〕

奈良県立医科大学腫瘍病理学教室

奈良医学雑誌編集部

奈良医学雑誌 第49巻第4号

（非売品）

平成10年8月25日 印刷

平成10年8月31日 発行

編集兼発行者：小 西 陽 一

印刷者：前 田 政 昭

印刷所：前田進行堂印刷

（株）前田グラフィック・アーツ

〔606-0964〕京都市左京区松ヶ崎修理式町3-7
〔605-0074〕京都市東山区祇園町南側585-4

発行所：奈良医学会
奈良県立医科大学

〔634-8521〕橿原市四条町

JOURNAL OF

NARA MEDICAL ASSOCIATION

Vol. 49, No. 4

Executive Editor:

Yoichi KONISHI, M. D.

Editorial Board:

Shigeaki ISHIZAKA, M. D.

Eiji KITA, M. D.

Hiroshi NAKANO, M. D.

Toshihiko SHIRAI, M. D.

Kunio YONEMASU, M. D.

Koichiro YOSHIHARA, M. D.

Managing Editor:

Hiroko MEGUMI

Published by Nara Medical Association

and University

Kashihara, Nara 634-8521, Japan
